



No.610C

4052

# LA7755

## モノリシックリニア集積回路 テレビ音声多重パイロット信号判別回路

◇ 半導体ニュース No.610C と同一です。

LA7755 は 音声多重パイロット信号判別用 IC で 音声多重信号処理用 IC LA7751 と併用することにより リードフィルタの削除ができる。

機能 ・ 922.5 Hz 判別用 PLL 回路  
・ ステレオ、異種制御電圧発生回路

・ 982.5 Hz 判別用 PLL 回路

特長 ・ 耐振、耐衝撃に強い。  
・ 弱電界特性が良好である。

最大定格/ $T_a = 25^\circ\text{C}$

最大電源電圧

$V_{CC\ max}$

15

unit

V

許容消費電力

$P_d\ max$

$T_a \leq 65^\circ\text{C}$

350

mW

動作周囲温度

$T_{opg}$

$-20 \sim +70$

$^\circ\text{C}$

保存周囲温度

$T_{stg}$

$-40 \sim +125$

$^\circ\text{C}$

推奨動作条件/ $T_a = 25^\circ\text{C}$

推奨電源電圧

$V_{CC}$

11 ~ 13

unit

V

動作特性/ $T_a = 25^\circ\text{C}, V_{CC} = 12\text{V}, f = 1\text{kHz}$ , 入力電圧 = 600mV<sub>p-p</sub>

無信号電流

2, 12ピン

6

12

18

mA

判別レベル (7ピン)

6, 9ピン = 5V

6

15

28

mV<sub>rms</sub>

引込み範囲 (7ピン)

入力 = 600mV<sub>p-p</sub>

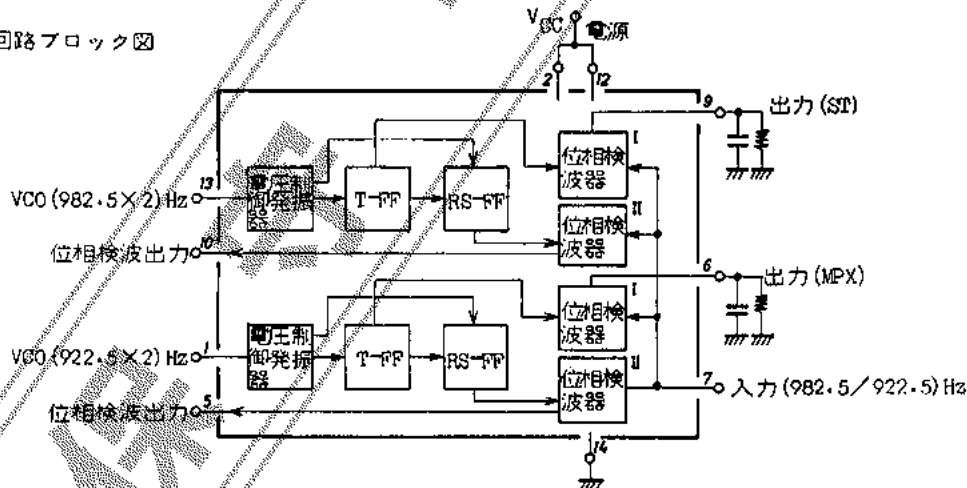
$\pm 14$

$\pm 21$

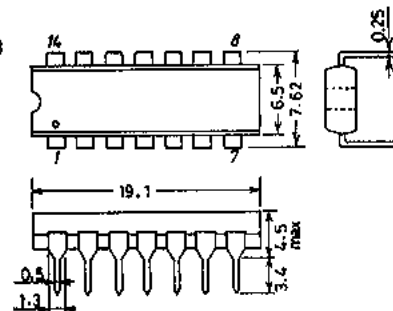
$\pm 29$

Hz

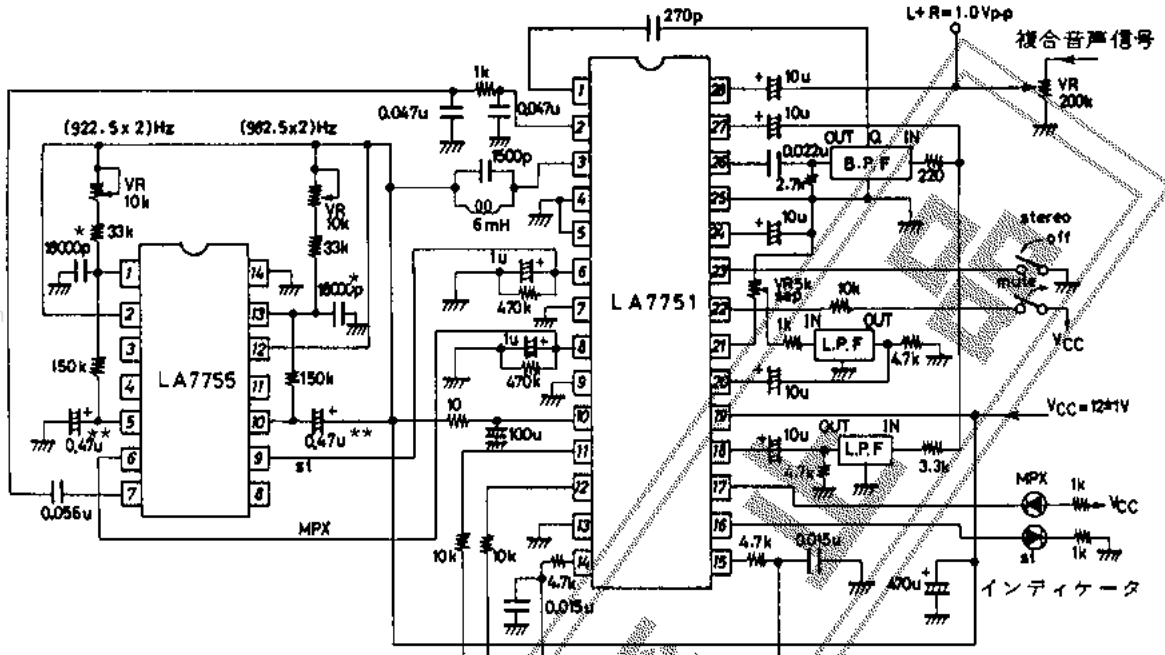
等価回路ブロック図



外形図 3003  
(unit: mm)

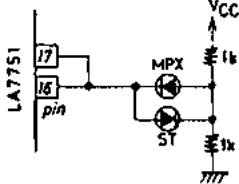


■ 応用回路例：音声多重 (PLL 使用時)



多重切り換え R 出力 L 出力

※ インディケータ表示は下図のような接続も可能である。



- \* 18000p --- ポリエステル ポリプロコンデンサ
- \*\*0.47μ --- アルシコン または タンタル
- 推奨フィルタ
- B.P.F --- BU-31 (光輪技研)
- L.P.F --- (A) 12A1160 (スミダ)
- (B) 12A1161 (スミダ)

調整方法 (LA7755 使用時)

1. LA7751 の 28ピンに 入力を入れない状態で LA7755 の 1ピン に 10:1 のプローブを通じてカウンタを接続する。VR 10k を調整して 1845Hz とする。同様に 13ピン にカウンタを接続して 1965 Hz に調整する。
2. SG を  $f_M = 1kHz$ , 100%変調, L+R 信号とし 28ピン の入力を 標準入力=1.0V<sub>p-p</sub> とするよう VR 200 k を調整する。
3. LA7755 の 7ピン に AC 電圧計を接続し Q 信号タンク回路 (3ピン) のしを電圧が最大になるよう調整する。
4. SG を L, R 信号とし L→R, R→L で最大の分離度となるよう VR 5k (21ピン) を調整する。